

○ 委員長報告

6月定例会本会議で報告された環境保健福祉委員長報告は、以下のとおりです。

平成29年6月定例会

環境保健福祉委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、水道施設の耐震化等についてであります。

このことについて一部の委員から、水道施設耐震化等促進事業では、どのような事業が行われているのか。

また、水道施設の耐震化について県としてどのような目標を持って取り組むのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、水道施設耐震化等促進事業は、市町が国の補助を受け、老朽管の更新や浄水場、配水管、配水池などの施設の耐震化を行っているものである。

また、本県の基幹管路における耐震適合率については、全国平均37.2%に対して23.9%で全国45位と低水準にあるため、県としては平成26年度に策定した「えひめ震災対策アクションプラン」において、平成36年度までの目標としている耐震適合率45%の達成に向け、引き続き、国に対して、市町と共同し、財源確保を要望するとともに、特に災害時に拠点となる重要給水施設へつながる基幹管路の耐震化の優先的な整備などについては、限られた財源の中で効果的な施設整備が進むよう、市町に対し適切に助言していきたい旨の答弁がありました。

第2点は、食品衛生対策等についてであります。

このことについて一部の委員から、最近の食中毒事件の発生状況はどうか。

また、国体開催に向け、食中毒対策にはどのように取り組んでいるのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、本県の食中毒事件は、平成26年度は12件、27年度は11件、28年度は9件発生しており、今年度も1件発生している。

また、特に、えひめ国体・えひめ大会においては、飲食に起因する事故のないよう、国体局、市町実行委員会が選定した営業施設の監視指導や責任者への

講習会の開催、各種検査の実施、県外開催競技等に係る弁当調製施設に対する管轄自治体への監視指導の依頼、民泊の共同調理を行う民泊協力会に対する衛生講習や調理施設への監視指導などにより、衛生管理の強化を図っている。

また、国体開催期間中は、食品等のふるまい所や弁当引き渡し所の現地確認を計画しており、関係機関とも密接に連携し、食品事故防止に細心の注意を払っていきたい旨の答弁がありました。

第3点は、障がい者の就労支援等についてであります。

このことについて一部の委員から、障がい者の雇用率を高めるためには、合理的配慮に努めることが重要と考えるが、民間事業者の理解を得て障がい者雇用率を高めるためにどのように取り組むのか。

また、障がい者の就労支援に関し、工賃向上に向けた販売促進には、どのように取り組むのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、県内の障害者就業・生活支援センターが中心となり、障がい者の相談に応じるとともに、市町や雇用主への助言に努めているところであるが、今後は、県主催の行事やイベントでの意識啓発に努めていきたい。

また、授産製品の販売促進については、平成28年度から、えひめ国体・えひめ大会に向けて、国体のおみやげ製品の開発、販売に取り組んでいるほか、農林水産部と連携し、障がい者就労支援施設への農作物の栽培方法等の指導や、農福連携マルシェによる農産物の販売にも取り組むこととしており、さらには、委託業者や共同受注窓口と連携し、行政機関や民間企業への販売に力を入れることとしている旨の答弁がありました。

このほか、

- ・食品ロス削減対策
- ・西条市で行われる弾道ミサイルを想定した住民避難訓練等
- ・ひめボス宣言事業所の現状と今後の展開
- ・認知症対策
- ・地域医療介護総合確保基金

などについても、論議があったことを付言いたします。

最後に、請願について申し上げます。

当委員会に付託されました請願1件については、願意を満たすことができないとして不採択と決定いたしました。

以上で報告を終わります。